

アイデアの理由:

# 障がい者雇用が難しい理由は何ですか？

障がい者に  
適した業務  
がない

社内理解が  
得られない

マネジメント  
が難しい

受け入れる  
環境が  
整っていない

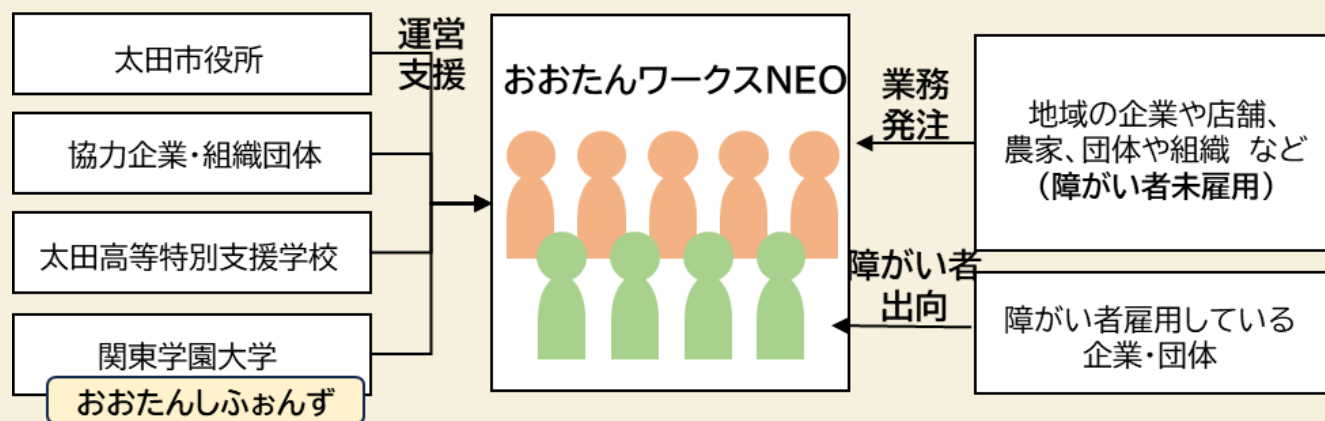
<令和3年12月「障がい者雇用に関する太田市内企業向けアンケート」(太田市)結果、回答一部抜粋>

現在、民間企業の障がい者法定雇用率は2.3%であるが、厚生労働省「令和4年 障害者雇用状況」の集計結果によると、**法定雇用率達成企業の割合は48.3%**であり、半数以上の企業で障がい者雇用が進んでいない。今後の法定雇用率引き上げが予定され、今までのやり方では障がい者雇用が進まなくなる恐れがある。

持続的な障がい者雇用を実現させるためのアイデア:

## 障がい者と企業を繋ぐ新しい架け橋 「おおたんワークス NEO」

「おおたんワークスNEO」は、持続可能な障がい者雇用を目指し太田市と関東学園大学を中心に地域企業・組織、太田高等特別支援学校の協力を得て設立する軽作業アウトソーシング企業。



多くの障がい者を持続的に雇用し、地域企業からの業務を請負う。組織的に業務に従事することで、障がい者の多様な働き方を実現。ビジネスの仕組みで地域課題を解決する「ソーシャル・ビジネス」を目指す。

実現に向けた流れ:

おおたんワークスNEOは太田市役所が中心となり、2024年4月から立ち上げ準備開始し、3カ年計画で4つのステージに分け事業を立ち上げ。

